

イチゴ品種の地域適応性について

浅井繁利・田中幸孝・高尾宗明

(福岡県園芸試験場)

ASAI, S., TANAKA, Y. and TAKAO, M.
Adaptability of Strawberry Varieties

本邦関東以西における一般暖地のイチゴ早熟、露地栽培の品種は、気象条件が類似していたため品種の生態的特性や適応作型については不明な点が多かった。

しかし、ビニール利用の促成、半促成栽培が普及するにいたり、年による気象条件や保温開始時期の相違により顕著な生育、収量差がみられ、産地で問題になっているので、1963年から主要品種について気象感応の面からビニールの被覆時期の相違について検討した結果、イチゴの着花数や休眠を打破する秋から冬の気象条件とくに低温度合が重要な役割をはたすことを認めたのでその概要を報告する。

試験方法

当場砂壤土畑において、関東以西の品種15種を用い、ビニールを12月、1月、2月に被覆する区と露地区を設け、1区15株、2～3連制とし、保温後は普通小型トンネル栽培様式によつた。

気象条件は、1963年は異常寒波で1～2月が低温寡日照に経過し、64年は秋冷、暖冬異変、65年は平年並気候と両3年対象的な相違を示したので、イチゴの着花数、株生育に著しい変化を認めた。

試験結果と考察

1. 株生育、ビニールの被覆時期と株生育は第1表のとおりで、被覆期が早いほどロゼット發育し、遅いほど旺盛な發育を示した。気象条件との関係では暖冬ほどロゼット化し、寒冬ほど旺盛な發育を示しこれらの生育差は葉面積、草丈、ランナーの發生数に著しいことを示した。

これらはイチゴ株が苗床から定植後、被覆時期までの低温経過度に比例しており、イチゴの休眠打破に対する低温の要求度を示すものと考えてよい。

品種間では、ダナー阿賀などは過早被覆や暖冬条件では株ロゼット化が著しく不適応生育を示したが、八千代、宮崎などは軽度であることを示し、前者は寒地型、後者は暖地型の適応生態を示すものと推察され、久留米31号、宝交早生などは中間型を示した。

2. 着花数、収量

第1図は、年度別、各気象条件における着花数の変化で、結果数、収量も花数と同傾向を示した。

ダナーは、暖冬年には着花数が極端に少なく、平年並年には多い。八千代は逆に暖冬年に多く、寒冬年に著しく少ない。久留米31号はいずれの条件下でも高い着花数を示している。

したがって、気象条件と着花数の変化からもダナーは寒地型、八千代は暖地型、久留米31号は中間型と、それぞれの地域適応性を示すものと推察される。

また、株生育、実用的収量面からみた、ビニールの被覆時期は、気象条件によつて変化するが、平年気候では、ダナー1月下旬、八千代12月下旬、久留米31号1月上旬～中旬と、特定の時期の被覆が最も増収になることが認められる。

3. 低温の要求度

以上のことから、イチゴの品種ごとの休眠打破に対する低温要求量を知ることが地域適応性や作型適応性を検定する重要な手がかりになると思われる。

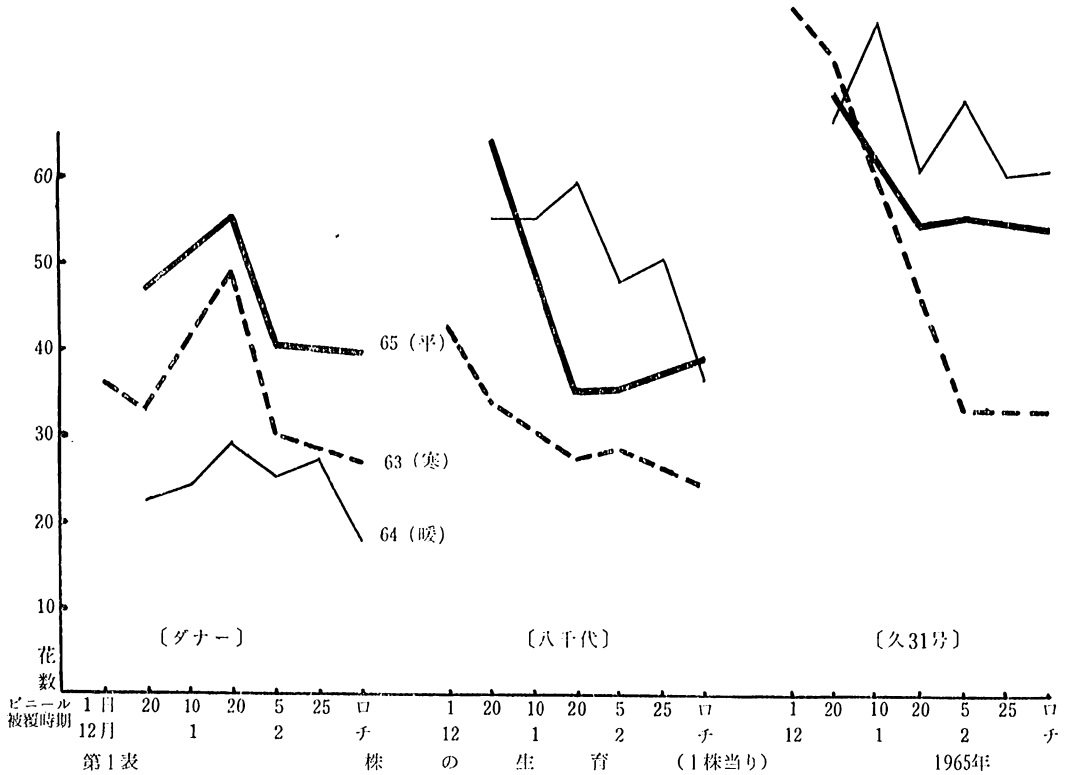
イチゴの低温要求度については、0℃前後で実験されたものが多いが、Baily (1963) らは7℃で効果を認めているので、北九州における実用的な低温要求量を知るため、5℃以下の積算時間と遭遇日数を算出すると、ダナーは45日間で500h、八千代は20日間で200h、久留米31号は30～40日間で300～400hでビニールを被覆すれば最も増収になることが判明し、66年度この基準により連続的な開花、収穫がえられ、均衡のとれた茎葉の發育を示し多収をあげた。

4. イチゴ品種の休眠性

イチゴの地域適応性や作型適応性は、品種の花成反応や休眠の深浅によつて大きく支配されると認められるので、現在までに供試した品種を、

以上の基準によつて分類すると第2表のとおりである。

第1図 ビニールの被覆時期と着花数 (1963~65)



第1表 株の生育 (1株当たり) 1965年

| 品 種 | トンネル被覆時期 | 4月30日 | | 6月3日 | | | | 8月30日 |
|-----|----------|------------------------|-------------------------|---------|----------|--------------|--------------|----------|
| | | 葉面積 cm ² | 1面葉積 cm ² | 葉数 枚 | 草丈 cm | ランナー発生数 本 | 最長ランナー cm | 採苗数 本 |
| ダナー | 1 2. 2 0 | 783.6 | 64.2 | 23.2 | 7.0 | 0.5 | 2.7 | 16.1 |
| | 1. 2 0 | 1,363.1 | 111.7 | 27.9 | 10.5 | 1.7 | 33.4 | 16.0 |
| | 2. 5 | 2,745.3 | 165.4 | 27.3 | 15.3 | 10.0 | 57.9 | 32.0 |
| | 露地区 | — | — | 23.5 | 16.5 | 2.3 | 44.3 | 15.0 |
| 八千代 | 1 2. 2 0 | 3,774.8 | 113.7 | 48.4 | 21.3 | 18.1 | 80.6 | 33.6 |
| | 1. 2 0 | 3,814.0 | 140.2 | 49.0 | 24.8 | 30.9 | 148.9 | 46.2 |
| | 2. 5 | 3,564.2 | 140.3 | 42.7 | 25.9 | 32.5 | 156.3 | 30.8 |
| | 露地 | — | — | 47.0 | 26.0 | 29.5 | 101.0 | 29.6 |

注. 採苗数は親株を畑床に移植したため少ない。

第2表 休眠性からみた品種の適応性

| 休眠の程度 | 品 種 群 | 適 応 性 |
|-------|---|------------------------------|
| ごく浅い | ベニツル, 促成2号, 3号, 4号 (久留米) 芳玉 (徳島) フクバ | 暖地 促成栽培 |
| 浅い | 宮崎, 幸玉, 八千代, 久留米32号 (久留米) | ごく暖地露地 半促成 (200~300h) |
| 中 | 久留米31号, 千代田 (久留米) たかね (興津) 宝交早生 (兵庫) | 半促成 (300~500h) 暖地 露地栽培 |
| 深い | ダナー, ニュダナー (静岡) かおり (広島) | 中, 暖地 半促成 (500~600h) |
| ごく深い | 阿賀 (新潟) フェアハックス | 寒地栽培 |

注. (200~300h) は 5°C以下の低温時間を示す。